



## あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会  
令和元年12月1日 第24号 委員長・山田 潤 編集・北條昭吾

### 11月9日（土）『ブランド薬師と十三仏』の講演に140人が傍聴

#### 光明院安置の薬師如来が里帰り、初めて見て手を合わせる人も！

浅川地区住民自治協議会、同まちづくり計画推進委員会主催で相原文哉先生を講師に『ブランド薬師と十三仏』の講演会が11月9日（土）に浅川公民館大会議室で開かれ140人が傍聴に訪れ関心の高さをうかがわせました。



この講演会はブランド薬師（八檜神社）が平成30年3月9日付けで長野市指定有形文化財に指定、今年1月、大正4年の古文書からブランド薬師の設計図・設計書が発見され、信州大研究室が再度調査に入り、関係者一同がブランド薬師を長野県宝にしたいとの願望を持って開催しました。



薬師如来像（信州大建築学科土本研究室蔵）

講演で相原先生から、ブランド薬師（八檜神社）の歴史、懸造など社殿の様子、会場に安置された薬師如来像と少彦名命坐像、十三仏礼拝道の石仏、光明院に安置された薬師如来の箱書きの故事来歴などの資料をパワーポイント画面で分かり易く説明しました。

会場には善光寺光明院松田信光住職にお持ちいただいた薬師如来像が安置されました。来場者は初めて見る薬師如来像に手を合わせたり、写真を撮ったりしていました。

今年度5回にわたりブランド薬師の現地調査に入っている信大工学部建築学科土本俊和教授と土本研究室の9人の学生、浅川地域外から50人が傍聴、熱心に聞き入っていました。

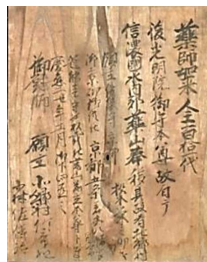
### 善光寺光明院の本尊『薬師如来』は370年前の光明院天皇の守り本尊！

#### 慶応2年に北郷村・松木栄之助が譲り受け 京都から持ち帰る

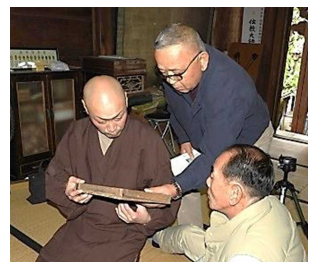
10月23日、浅川の関係者が善光寺光明院を訪れ「薬師如来像」の撮影・故事来歴の調査を行った所、薬師如来像の入った厨子に箱書きを発見、薬師如来像はおよそ370年前の光明院天皇（1643年～54年在位）を守る本尊と分かりました。

薬師如来像は江戸時代後期・慶応2年に北郷村の松木栄之助が京都で譲り受け持ち帰り、小林佐傳治が頭になって奉り薬山前立本尊となったことが記されていました。

善光寺光明院の松田信光住職は、関係者と厨子や薬師如来像の細部にわたり一緒になって調査しました。



箱書きに故事来歴



松田住職と一緒に調査

松田住職によると薬師如来像について、毎年4月8日ころ薬師如来像を持って浅川に行ったと聞いている。浅川公民館が昭和45年に発行した「ブランド薬師の歴史・八檜神社小誌（小林朗編集）」があるだけで光明院にある理由など不明な点が多くあるとのこと。

この調査にはブランド薬師保存会・宮澤重徳会長・原田孝成浅川住自協活性化推進員・北條昭吾住自協まちづくり計画推進委員会広報担当の3人があたりました。

また10月29日相原文哉先生が光明院住職・浅川住自協関係者と一緒に光明院で薬師如来の調査を行いました。厨子の箱書きの解読は長野市公文書館西澤安彦先生にお願いしました。

### 10月27日 浅川ダム展望広場フェンス西側に江戸彼岸桜5本を植樹

チームフロンティア・浅川の5人は10月27日、浅川ダム展望広場フェンス西側の植栽地に

江戸彼岸桜 5 本を植樹しました。



春に松代で江戸彼岸桜を育苗・頒布しているスハマ会から苗を購入し、桜を植樹する予定でしたが、雪で延期になっていました。植栽地にシャベルやつるはしで 50cm ほどの深さに穴を掘り、バーク堆肥を穴に入れ植樹しました。

春に購入した苗 20 数本はまだ伏せてありますが「チームフロンティア・浅川」の人手と時期を見て植樹する予定です。

## 若槻・芋井公民館の「歴史発見隊」41 名が浅川ダム・ブランド薬師へ

若槻公民館と芋井公民館が合同で交流し合う「歴史発見隊」が 10 月 24 日（木）浅川ダム・ブランド薬師を訪れ変わる浅川の姿を勉強しました。

中型バスに乗った参加者は、浅川ダムの天端で県浅川改良事務所の職員から「治水ダムで出水時は水を貯め、徐々に流れる穴あきダムなどの説明を受けました。

台風 19 号の被害で災害が起きてる中、予定が変更できないなか浅川改良事務所の職員 5 人の内 4 人が説明に当たっていました。

参加者はブランド薬師裏参道に入口移動、若槻郷土史研究会北條副会長の説明で馬頭観音の台座に彫ってある「右一のせ道」「西はたやま道嘉永六年」「北江なかそねかくし道」を見ました。

ブランド薬師では 3 本の柱で支えられた懸け造りの建物で「北郷公民館で見つかった大正 4 年の古文書の設計図・設計書から信大工学部建築科土本研究室が調査に入っていて、県宝を目指して調査している」などの説明があり、ブランド薬師で参拝したり見晴らしの良くなった市内を眺望したり、十三仏そばに建てたばかりの説明看板を見て「よくわかった、楽しさが増した」と満足していました。



## 浅川小児童が浅川チャレンジで霊園・ダム・ブランド薬師など学習

浅川小学校では 10 月 24 日、学年別に浅川各地を訪れる「浅川チャレンジ」が行われ児童は霊園のゴマシジミ。ブランド薬師。浅川ダムや各地で関係者から説明を受け地域学習をしました。

浅川ダムでは、浅川改良事務所職員からダムの説明を受け、説明内容を熱心にノートに記録していました。

また見学者にはダムカードが配布され見学の楽しみが増えました。ブランド薬師では八楯神社牛山副総代から説明があり、児童と共に参加した父兄も熱心に聞き入っていました。長野市霊園では徳永前所長から絶滅危惧種であるゴマシジミの写真を見ながら生息状況や保護活動の大切さを聞きました。



## ひかり園 年長・年中組の 80 人が参道登りブランド薬師遠足

### 年少組 41 人は浅川ダム脇階段上がりダム見学、元気に歩きました！

認定こども園・ひかり園では、10 月 18 日（金）年長組・年中組がブランド薬師へ、年少組は浅川ダムへ元気に秋の遠足を行いました。



年長組 38 人と年中組 42 人は、園バスでブランド薬師表参道入り口で降り、時間差で参道を登りました。

参道には説明看板を取り付けたばかりの十三仏を前に、番号を読み上げたり、先生から「・・・の仏像だよ」と説明を受けると真剣に見つめていました。園児達は元気よくブランド薬師・裏参道入り口まで歩きました。

吉村徹園長先生によると「子どもたちは、仏像の看板から番号を読み上げていた。子どもたちに説明するのも役立った」「参道は歩き易く安全であった」「参道は木が伐採され明るくなってよかった」「遠足は昭和ノ森公園からこのコースに替え 2 年目、子ども達の顔も輝く良いコース」との事です。帰りは裏参道入り口から園バスで帰りました。

年少組は、ダム下で降車、ダム左岸脇の 140 段位の階段を登りダム天端や展望広場で遊んだり昼食をとったりと楽しみました。